

通 知

発信日： 2014 年 3 月 10 日

受信者： 中央幹部, 地域七十人, 伝道部会長, ステーク会長, 地方部会長,
ビショップ, 支部会長

発信者： 宣教師管理部 (1-801-240-2222)

件 名： 帰還する宣教師の結核のスクリーニング検査

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

結核とは、細菌によって感染する重篤な病気で、肺その他の生命に関わる大切な臓器を侵すことがあります。帰還する宣教師が全員結核の検査を受けることは、非常に大切です。すぐに症状が出なくても、この病に感染している可能性があるからです。

同封されているのは、帰還する宣教師に伝道部会長が渡す手紙です。帰還したらすぐに結核の検査を受けるようにとの指示が書かれています。この手紙の電子コピーは、伝道部会長は「伝道部会長用ポータル (Mission President's Portal)」(missionary.lds.org/presidents) から、伝道本部のスタッフは「宣教師医療情報 (Missionary Medical)」ウェブサイト (missionarymedical.org) から、それぞれダウンロードすることができます。

地元の神権指導者の方々にお願いします。宣教師が帰還したら、結核の検査を受けるよう勧めてください。また、結核と診断された場合には、十分な治療が受けられるよう配慮してください。

愛する _____ 長老／姉妹：

件名：結核のスクリーニング検査

結核とは、細菌によって感染する重篤な病気で、肺その他の生命に関わる大切な臓器を侵すことがあります。結核はよく見られる感染症で、全世界の人口の3分の1もの人々が結核菌の保有者です。結核菌に感染している人が咳をすると他の人に感染することがしばしばあります。

大抵の人は、結核菌に感染してもすぐに症状が出ません。これは、潜伏結核と呼ばれます。潜伏結核患者が後に結核の症状を発症する可能性は10パーセントです。

結核菌にさらされたとしても重い症状が出るわけではないので、伝道から帰還したら、直ちに結核のスクリーニング検査を受けることが**非常に大切です**。伝道前の検査結果（陽性か陰性）にかかわらず、帰還したら医師の元に、あるいは保健所に行って再度検査を受けてください。再検査または治療の必要が出てくるかもしれません。

潜伏結核と診断された場合は、自国の衛生政策に基づいて医師または保健所から勧告が出ますので、それに従ってください。生涯にわたって壮健な主の僕でいられるよう、皆さんが健康に留意しておられることに感謝しています。

心を込めて

伝道部会長